

令和4年6月15日発行

〒603-8474 京都市北区大宮薬師山東町47-5
建設業/京都府知事(般-30)第31625号 インテリアコーディネーター登録店

粹人 石屋の多趣味人生

その177

二周年

石屋紀次

現場報告

※木津の工事状況です。



「現在進行中物件の一部です」

- ★丹後の物件（リフォーム）
ユニットバスが入りました。
- ★壬生の物件（リフォーム）
打ち合わせ中です。6月着工予定です。
- ★木津の物件（新築）
6月3日に無事棟が上がりました。
- ★薬師山の物件（新築）
解体工事が終わりました。
- ★鳴滝の物件（リノベーション）
内部の解体工事の準備中です。
- ★伊那の物件（リフォーム）
現場打ち合わせを致しました。
- ★鳴滝の物件（新築）
打ち合わせを致しました。
- ★生駒の物件（新築）
図面作成中です。

今津に引越しまして2年が経ちました。当初は誰も今津から通勤するとは信じてくれず、すぐに京都に帰ってくると思っていたようですが、現在も続いています。引越して変わったことは外でお酒を飲む機会が減りました。特に京都で飲むことはまずありません。当初は飲んで日は会社に泊まることも考えたのですが、今津の方が落ち着いて寝られるので、できるだけ今津に帰るようになっています。早起きにもなりました。遅くとも5時には目が覚める習慣が付きました。5時過ぎには家を出て6時半ごろには京都に到着しております。そんなに早く着いて何をやるかと言いますと、ジムに通っています。ジムは会社のすぐ近くに有りますので、8時半までみっちり2時間鍛えています。おかげさまで体の方も健康で、半年に一度は検査をしていただいているのですが、全ての数値が改善されているので、主治医も「患者さんの鑑ですね。」と太鼓判を押してくれています。

ALL ART & HOUSE
毎週水曜日
朝6時～
αステーションで
オンエア中



後、変わったことは、家族が2人増えたことですね。「栞（もみじ）」さんと「楓（かえで）」さんです。おかげで毎日かぎやかにになりました。娘さんが3匹、いや3人になりました。先住の「美依」さんはもう十九歳ほとんど動くことも無く1日中寝ております。お二人さんは毎晩家の中で運動会をされていて、家の中がひっちゃかめっちゃかで、掃除と後始末に追われる日々です。あと何年ここに住み続けるかは未定ですが、住めば住むほど愛着を感じています。自分でもここまで落ち着くとは思っていませんでした。時期が来れば家を建て替えてもう少し断熱の効いた家で冬の雪景色を楽しみたいとも考えている今日この頃です。

岩手へ③

村田 真由美

東日本大震災の被災地から平泉の藤原まつりを巡り、最後は夫の希望で松島の『伊達政宗歴史館』に寄って来ました。私は歴史には強くないので夫の説明を聞きながら見学しましたが、歴史好きの夫は大満足のようでした。松島には震災前と震災後に訪れていますが、震災後の港の様子はすっかり変わってしまいました。それでも松島は日本三景の島々のおかげで、他の沿岸部よりは被害が少なかったと遊覧船の船長さんが話して下さいました。そして仙台



と云えば『牛タン』
仙台駅で約一時間行列に並び『利久』の牛タン定食を食べて来ました。肉はほぼ輸入なのに、なぜ仙台で牛タンが名物になったのか、理由は諸説あるようですが、焼鳥屋さんや『誰にも真似できないメニユーを作っている』と意気込んで牛タン焼を開発したのが、転勤族や単身赴任者の間で評判になり、全国に広まったそうです。



そうめんとひやむぎ

安田 裕

暑い日はひんやり冷たい物が食べたくありません。そうめんとひやむぎの違い調べてみました。

そうめんとは？
小麦粉が原材料の麺の一つで、製法は、機械製法で作る乾麺類と、手作業で作る手延べ麺の2種類あり、手作業で時間かけて作る手延べ麺には、途中で表面が乾いてしまわないよう、油が含まれているものが多く、風味が少し違います。日本農林規格では、そうめんの太さは直径1、3mm未満と定められています。

ひやむぎとは？
小麦粉が原料の麺の一種で、日本農林規

格では、ひやむぎの麺の太さは直径1、3mm以上、1、7mm未満で、そうめんより、ひやむぎの方が少し太いです。1、7mm以上の太さの麺が、うどんです。見分けが付きにくいことから、ひやむぎには色付きの麺を混ぜていたといわれています。手延べそうめんの場合は機械と比べて多少の誤差があることを考慮して、1、7mm未満であれば、そうめんといひやむぎのどちらで呼んでもかまわないそうです。



温泉旅行

石坂 晴夫

先日一家総出で粟津温泉の格安ホテルに行きました。例年なかなかみんなが集まることができないので、旅館やホテルの大部屋で十人ほどが泊まれるところを探します。今回はコロナの関係で三年ぶりの泊まりでした。旅館も宿泊数を調整しているのでしょうか。多すぎることはなくわりとゆっくりできました。ただ、ずくっと旅館も厳しかったのか、時期が悪かったのか、例年のビュッフェとは違っていました。

日頃会えない孫たちも一緒に部屋で寝ることとで様子がわかるのがとてもいいんです。今回卓球で盛り上がり、思わず若い者に負けじと参加してしまいました。「昔取った杵柄で」と、思っていましたがあんまり上手いきませんでした。後、何年こういう旅行に行けるかわかりませんが、日頃会ってなかなか接しにくい孫たちも楽し気にしているのを見るととても安心します。

